

# 来館者数 25 万人達成

— 9.98 スタジアム 16 倍もの方々が来館 —

福井県年縞博物館は、今日、開館から 25 万人目の来館者をお迎えしました。

「25 万人」といってもピンときませんが、福井県営陸上競技場(9.98 スタジアム)の収容人員が 1 万 6000 人ですので、満席のスタジアムの 16 倍もの方々が来館されたこととなります。年縞博物館が開館した 2018 年 9~10 月は、福井しあわせ元気国体と福井しあわせ元気大会の開催があり、私は式典プロデューサーであったため、9.98 スタジアムを埋め尽くした人々の姿が忘れられません。そして、あの 16 倍もの方々が年縞博物館に来ていただいたのかと、感無量です。

年縞博物館では、来館者の皆様に深い知識をもつ数名の専門員、ナビゲーターがじっくりと時間をかけてご案内しています。そのナビゲーターの一人は「これまでご説明したのはおよそ 2 万人」と語っています。その解説は同じ内容ではなく、来館者の年齢や関心に合わせて変える努力をしています。

年縞博物館が、Google での全国の博物館の来館者評価で常に上位 3 位以内を占め続けてきたのは、私たちの来館者の皆さんをお迎えする姿勢ゆえと思います。来館者 25 万人達成は、単なる数字の記録ではなく私たち年縞博物館の真挚な思いが通じた結果の 25 万人なのだと思っております。

北陸新幹線の敦賀開業で年縞博物館の来館者増を期待して迎えた新年早々、北陸地方を震え上がらせた能登半島地震が発生しました。私たちは、この巨大災害の一日も早い復興を願い、より力強い北陸振興の一助として博物館活動を続ける決意です。どうぞ変わらぬご支持をお願いいたします。

福井県年縞博物館 特別館長 山根一眞

2024 年 3 月 8 日